

【別記様式第2号】

山形セレクション（農林水産分野）認定申請調書

- 農産物・林産物（特用林産物） -

申請者の概要

ふりがな	のうぎょうきょうどうくみあい おうとうぶかい		
氏名又は名称	農業協同組合おうとう部会		
ふりがな	ぶかいちょう		
代表者の職・氏名	部会長		
住 所	〒 - 山形県 市 町1-2-3		
構成農家数	200 戸	常時生産従事数 ¹	412 人
T E L	(023)623-xxxx	F A X	(023)630-
担 当 者	所属：営農販売部	職名：園芸課長	氏名：xxxx
TEL	(023)623-xxxx	E-mail	xxxx@0000000.or.jp
FAX	(023)630-		

1：基幹的農業従事者（ふだんの主な状態が農業が主の者）の人数を記載してください。

申請品の概要

品目名	おうとう	品 種 名	佐藤錦、紅秀峰	商 品 名		
直近の 生産実績 (17年度)	品目全体	生産量	800 t	販売金額	160,000万円	
	当該品種	生産量	680 t	販売金額	150,000万円	
生産出荷計画の概要 (年度)	栽培予定面積	品目全体	130 ha	当該品種	100 ha	
	当該品種の主な栽培地 ¹	山之上町下沢、唐桑、東楯				
	出荷予定数量	品目全体	810 t	165,000万円		
	及び品目全体の 販売見込金額	当該品種	650 t			
		認 定 品	5 t			
	当該品種の作型及び 出荷予定期間	作 型： 雨よけ栽培 出荷期間： 6月中旬～ 6月下旬				
	集出荷施設（場所）	農業協同組合中央選果場				
選果・選別・出荷形態 (右欄に を付けてください。)	共選共販（機械選果）・共選共販・ <u>個選共販</u> ・個選 その他（)					
主な出荷販売先 ²	東京都中央卸売市場					

1：市町村名地区名（小字名）まで記載してください。複数の栽培地がある場合は規模の大きい代表的な栽培地を記載してください。

2：J A名、出荷市場名等および直売の場合は販売形態（宅配、直売施設等）を記載してください。

山形基準に基づく認定申請品の生産・流通の取組み

1 高い品質 一切妥協のない優れた品質の商品・サービスの提供

(1) 高品質な商品の生産、商品の厳選と安定供給

食味・形状等、品目・品種の特徴を十分に発揮させる優れた生産技術による高品質な商品の生産と、出荷規格に基づく商品の厳選を行っていること

項 目	申請者記載欄
申請品の等級・階級等について、具体的に記載してください。	<p>等級区分： 秀 階級区分： 2L、3L 糖度： 21度以上</p> <p>外観、形状等の特徴 外観は、果実全体が佐藤錦特有の明るい赤色に着色し、光沢があって秀でている。また、形状・大きさの揃いも極めて良好である。</p> <p>食味（食味値、糖度、糖酸バランス、果実硬度等）の特徴 糖度は21度以上あり、甘酸適和で濃厚な食味となっている。完熟したものを収穫しているが、果肉はしっかりしており日持ち性も良い。</p> <p>その他高い品質に係るアピールポイント 土づくりに力を入れており、堆肥等の有機質を毎年施用している。また、肥料は油かす等の有機質100%のものを使用している。</p>
格付・検査の方法を記載してください。	<p>格付・検査員の有無 <input checked="" type="radio"/>有(人数 20人)・無</p> <p>格付・検査代表者</p> <p>所属 部 役職 氏名</p> <p>格付・検査の方法（流れ）、留意している事項について記載してください。</p>
花きの場合、日持ち（鑑賞期間）を保証する取組みを行っていますか。行っている場合はその概要を記載してください。	<p>日持ち（鑑賞期間）保証の取組み</p> <p>行っている・行っていない・今後実施予定（ 年 月頃）</p> <p>取組みを行っている場合は保証期間も含め概要を記載してください。</p>

県内外で認知性・周知性を有する品目・品種で、品質及び生産量において安定した供給が可能であること

項 目	申請者記載欄
生産拡大や安定出荷、安定した品質の維持・向上に向けた取組み状況を記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <p>生産拡大に向けては、品質の優れた晩生種である「紅秀峰」の増殖・新植運動を組織を挙げて進めている。「紅秀峰」は着果量が多くなると小玉となる特性があることから、「紅秀峰栽培研究会」という組織を立ち上げ、本来の特性である大玉で高品質である点を生かせるよう、「紅秀峰」に合ったせん定方法や摘芽・摘蕾等の栽培技術の普及・定着に取り組んでいる。</p>

(2) 流通・販売における優位性の確保と品質管理の体制整備

出荷資材のデザインの統一、優れた品質・機能性等の特徴や食べ方の周知・提案等により、流通・販売段階での優位性の確保に努めていること

項 目	申請者記載欄												
流通・販売における優位性確保のため取り組んでいることを記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。 (流通・消費ニーズの把握、機能性や食べ方の周知・提案、消費拡大のための取組み、出荷箱や荷姿を統一した販売対策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場研修やスーパー等での消費宣伝活動に率先して参加し、消費地からの評価を収集し産地での高品質生産に生かしている。 ・消費者に対しセレクションの表示を明確にし販売する。 ・さくらんぼには、ビタミン類やミネラル等栄養成分が豊富に含まれているので、健康維持増進には欠かせないものであることを販売促進活動等においてアピールしている。 ・産地ならではのおいしい食べ方、青果物基金とのタイアップによるオリジナルクッキングレシピ等をPRし、生食だけに限らない需要の拡大に努めている。 ・ブランド確立を図るため、高品質の出荷に努めるとともに、統一デザインの化粧箱を使用し、産地の想いが伝わるよう努めている。 ・セレクション品については、JA全農との協議のもと、販売先を特定し、事前値決め方式等の協議を行い取り組むこととしている。 												
申請品の主要取引(出荷)先と取引形態(契約取引・相対取引等の割合)を記載してください。	<p>主要出荷先(予定) 取引形態(を付けてください。)とその割合</p> <table border="0"> <tr> <td>青果</td> <td>契約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>屋</td> <td>契約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>XX フルーツ</td> <td>契約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>契約・相対・相対・セリ・直売・その他</td> <td>%</td> </tr> </table>	青果	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	50%	屋	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	20%	XX フルーツ	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	30%		契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	%
青果	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	50%											
屋	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	20%											
XX フルーツ	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	30%											
	契約・ 相対 ・相対・セリ・直売・その他	%											

徹底した品質管理とクレーム対応のための記録管理や体制整備を行っていること

項 目	申請者記載欄
収穫・調整(製)、出荷、流通、販売において、鮮度・品質を保つための取組み(記録管理を含む。)を記載してください。	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スグリもぎをせず、樹全体の果実の着色・熟度熟期が揃うまで待つて2回で収穫終了する。 ・可食適期による収穫の徹底(早もぎ、遅もぎをしない)。 ・通気がよく涼しいところでの出荷作業による品質劣化を防止。 ・保冷車による低温輸送での鮮度保持。 ・当日収穫、同日出荷、翌日販売の取組み。 ・セレクション品と他のさくらんぼの混入を防ぐため、収穫から出荷までの管理の徹底と記録簿の整備。

クレーム等の処理体制等を記載してください。

生産者（出荷者）名、連絡先等の表示 ・ している・ していない

・ 表示方法（表示内容・単位について該当項目に を付けてください）

表示内容 ・ JA等出荷組織名・ 氏名・ 生産者コード・ 住所・ 電話番号

・ アドレス（HP・メール）・ ID番号・ その他（ ）

表示単位 出荷箱・ 小売単位・ POP表示・ その他（ ）

クレーム等処理に対する責任者の配置

・ している（ 1人）・ していない

クレーム等処理の体制及び発生時の対応を記載してください。

- ・クレーム対応責任者の設置。
- ・クレーム対応責任者への研修の実施
- ・クレーム発生時においては、迅速な情報収集、誠実かつ的確な対応、クレームの解決。
- ・解決すべき問題点については、再度の発生を防止するため、すぐに対策を実施。
- ・セレクション事務局への迅速な連絡による情報の共有化。

これまでのクレーム等への対応の記録 ある・ ない（今後記録する）

2 安全性・安心感への配慮 安全性に十分配慮した消費者から信頼される商品・サービスの提供

(1) 生産工程等における安全性の確保

やまがた安全・安心取組認証等の認証を受けるなど、生産・出荷工程において農薬等の適正使用、栽培履歴の記帳、残留農薬検査の実施等の安全性確保の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の安全性確保のためどのような取組みを行っていますか。各種認証制度による認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。</p>	<p>現在の取組み状況、今後の予定などを記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通風や採光に留意した剪定で園地の環境改善を行い、病害虫の発生が少なくなるようにしている。 ・こまめな草刈りによる草生栽培を行っているため、除草剤は使用していない。 ・園地の環境改善による着色向上をこころがけ、着色促進剤は使用していない。 ・環境にやさしい交信かくらん剤を設置し、コスカシバの発生を抑制している。 ・農薬を使用する場合は容器に記載されている使用基準を確認するとともに、アグリンから最新の農薬登録情報を入手している。 ・農薬散布面積を正確に把握し、過不足のない薬液量を調製している。 ・農薬散布作業後は、直ちに栽培履歴に記帳している。 ・やまがた安全・安心取組認証制度の中で、出荷前の残留農薬分析検査を行っている。 <p>認証制度名（対象品目） やまがた安全・安心取組認証制度（おうとう）</p> <p>認証番号 18 -</p> <p>有機・特裁・エコファーマーは5(1) に記載してください。</p>
<p>申請品の生産に係る肥料（土づくり肥料を含む）や各種資材について記載してください。</p>	<p>使用している肥料、各種資材の商品名や成分等が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべて明らか・一部資材は不明・ほとんど不明 <p>生産工程管理表への資材名等の記載 <input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無</p>
<p>農薬等の飛散等による申請農産物および周辺農作物等への影響防止に向けた取組みを記載してください（ポジティブリストへの対応）。</p>	<p>認定申請品への飛散防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講じている・講じていない・今後講ずる（ 月頃から） <p>周辺農作物への飛散防止の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行っている・行っていない・今後行う（ 月頃から） <p>上記について具体的な取組み状況（予定）を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬散布作業は早朝に行なうこととし、風の強い日は中止している。 ・スピードスプレーヤー（SS）とおうとう樹との距離に注意し、不必要なノズルは止めている。 ・ほ場の境界付近では、ほ場外縁部から内部に向かって手散布で防除している。 ・隣接ほ場の栽培者と話し合いをおこない、できるだけおうとうと隣接ほ場で栽培されている作物とで共通で使用できる農薬を選定するようにしている。また、お互いに予定収穫時期の情報を交換し、収穫間際の農薬散布を控えるようにしている。

(2) 消費者との交流等による信頼性の確保

消費者との交流や生産者の顔が見える販売、トレーサビリティ・システムの導入等、消費者の安心感・信頼性を確保する取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
トレーサビリティ・システムの導入等、消費者や流通関係者への生産情報の開示・提供の取組みについて記載してください。	<p>流通過程における問い合わせに対し生産情報の開示が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも可能である・出荷直前には可能である・多少時間が必要 <p>生産情報の開示・提供の方法を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果ネットカタログ（SEICA）に連絡先住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスの情報を開示し、流通関係者より問合せがあった場合は迅速に書面や電子媒体等で情報伝達している。また、生産者情報をポップ表示できる機能を付加し、店頭で消費者へ情報が伝わる仕組みを構築している。 ・当方のホームページでセレクション品の生産情報を開示している。なお、ホームページアドレスは青果ネットカタログにも記載している。 <p>IT活用による情報公開可能なトレーサビリティ・システムを</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入している・導入していない・導入予定（ 年 月頃）
消費者や小売店との交流や生産者の顔が見える販売の工夫をしている場合は、その概要を記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・配送用のダンボールに、セレクション品のセールスポイントと生産者の顔写真を入れたリーフレットを添付する。 ・また、生製品の感想などを記入するアンケートのハガキを同梱し、消費者からの声に応えるようにする。

3 山形の自然、歴史・文化の継承 山形特有の地域資源を活かした商品・サービスの提供

(1) 地域資源の活用

地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売において活かす取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
地域の自然、歴史・文化・地域づくりとの関わりや産地形成に至る歴史・物語等について、生産・流通・販売においてどのように活かしているか具体的に記載してください。	<p>自由に記載してください。</p> <p>当市は、周囲を 山、 連峰に囲まれた 盆地の西部に位置し、比較的温暖で降霜の被害も少ない、さくらんぼ栽培に適した気候条件にある。さくらんぼの栽培の歴史も古く、導入は明治11年と県内で最も早い。先駆者達が栽培技術の普及にも熱心に取り組んできた経過から、現在でも品質の高さは県内で最も高いレベルにある。</p> <p>共選体制の整備も他産地より早く、厳格な品質管理を行っており、各市場からも一流の銘柄として高い評価を得ている。</p>
水田農業ビジョンや地域農業振興における位置づけ、市町村等との連携、産地・地域として今後の振興方策、後継者（担い手）の育成・確保方策等について記載してください。	<p>自由に記載してください。</p> <p>当市の農業は、米＋果樹を基幹として、野菜・花き等の園芸作物を取り入れた複合経営が主体となっている。その中でもおうとうは、当市の水田営農ビジョンや園芸振興計画において最大の主力品目に位置づけて振興を図っている。</p> <p>収穫時期を広げ収益性を高める栽培方法として、ハウス加温栽培の振興を図っているほか、新たな振興策として、最近注目されている品質の優れた晩生種「紅秀峰」の産地化を進めている。</p>

4 山形の技術・技法の伝承 伝統的な技術・技法に裏打ちされた商品・サービスの提供

(1) 立地条件に適した技術・技法の維持向上

地域の自然条件を活かした独自の栽培方法の採用や立地条件に適した生産技術の導入等、産地の形成及び拡大に向けた技術・技法の維持向上、普及の取組みを行っていること

項 目	申請者記載欄
<p>申請品の生産・流通・販売において、自然環境や栽培地の地理的条件をどのように活用しているか記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。 当地は、川の氾濫などで土砂が堆積して出来た地域で、水はけが良く土が肥え、さくらんぼの栽培には最も適した土壌と気候条件にある。 また、県内でも最も古い栽培の歴史を持ち、生食向け栽培が主体となってきた昭和50年代後半からは、高品質栽培に向けた栽培技術の確立に向け、雨よけテントの導入や夏季剪定による低樹高化、摘芽による大玉生産等の技術開発等を進めてきた。この結果、品質の高さの面で、県内一の銘柄産地として評価されてきている。 さらに、特産品であるさくらんぼを市行政の柱として観光面まで広げてアピールしながら、市民を挙げて「日本一のさくらんぼの里」づくりを進めている。</p>
<p>技術の維持向上、高品質生産のための技術開発・普及への取組みについて、自主的なほ場格付や立木審査会等も含めその概要を記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。 大玉・高品質生産を図るため、組織的な取り組みとして、毎年、せんだ講習会・摘芽講習会・出荷目揃い会・夏季管理講習会・冬期研修会等を開催し、部会員の技術レベルの維持・向上に努めている。 また、青年部の取り組みとして、ほ場での立木審査会を開催して優秀な園地を表彰しており、若い栽培者の栽培意欲の向上と技術のレベルアップを図っている。</p>
<p>栄養価を高める等農産物の特性を発揮させるための栽培管理面等での工夫を記載してください。</p>	<p>自由に記載してください。 果実に十分陽が当たるよう樹と樹の間隔を8mと広くとり、広々とした園地づくりを行っている。この結果、収量は少ないものの、大玉で糖度が高く着色の良い果実生産が可能となっている。 また、日当たりの良い環境にあるため、着色を進めるための葉摘みはほとんど行っておらず、これが大玉で高品質な果実生産につながっている。</p>

5 環境への配慮 山形の自然・大地に対する感謝と敬意を払った商品・サービスの提供

(1) 環境に配慮した生産方式の導入

有機栽培、特別栽培、エコファーマー等、環境に配慮した生産方式や、耕畜連携による土づくりなどの取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
有機栽培、特別栽培、エコファーマー等の認証を受けている場合は、認証制度名等を記載してください。	<p>認証制度名(対象品目) エコファーマー認定制度(おうとう) (持続的農業生産計画認定制度)</p> <p>認証番号 A 1 -</p> <p>今後認証を受けようとしている認証制度と予定時期 山形県特別栽培農産物認証制度(おうとう・山形県農業振興機構) 申請予定時期 平成21年4月</p>
化学農薬、化学肥料低減への取組みを記載してください。	<p>減化学農薬 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている (3割削減) ・行っていない</p> <p>減化学肥料 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている (10割削減) ・行っていない</p>
有機物投入等による土づくりと、土壌診断や植物体分析、効率的な施肥技術による施肥の適正化について記載してください。	<p>土づくりの取組み概要(有機物等の種類・年間投入量、耕畜連携の状況等)を記載してください。 地域内の堆肥センターから牛ふん堆肥を購入し、10a 当たり1t 施用して土づくりを行っている。</p> <p>診断の種類と概要、結果の活用方法 農業普及課が行う土壌診断に基づき施肥量を決定している。</p> <p>効率的な施肥技術の概要 秋基肥とお礼肥のバランスを考慮しながら、有機質肥料による施肥を行い、施肥効率を高めている。</p>
肥料や堆肥等有機物の安全性等に配慮していますか。	<p><input checked="" type="checkbox"/> 配慮している ・配慮していない</p>

生産資材、残渣、養液栽培における排液(廃液)の適正処理、リサイクル等の取組みを行っていること

項目	申請者記載欄
農産物残渣や農業用廃プラスチック、使用済み農薬、肥料の容器等生産に係る資材の廃棄・リサイクル処理方法について記載してください。	<p>農産物残渣の処理方法 剪定枝のチップを堆肥化し、園地に還元している。</p> <p>資材の廃棄・リサイクル処理方法 使用済雨よけ被覆資材は、分別を徹底し市町村協議会が行う組織的回収に参加しながら適正に処理している。</p>
養液栽培の場合は、環境負荷軽減に向けた取組みについて記載してください。	

6 その他

(1) 申請品に対する想い（農産物の特徴、栽培面でのこだわり等）を記載してください。

(2) 申請品が山形セレクションに認定された場合、認定品の流通・販売計画（出荷・販売先、認定マークの小売段階までの表示方法、価格設定（交渉）の方法、有利販売に向けたPR方法等）を記載してください。（記載欄が不足する場合は、別葉に記載してください。）

7 添付資料

- (1) エコファーマー認定証写
- (2) 土壌診断結果表写
- (3) 農業用使用済プラスチックの適正な処理を証明するもの
- (4) 残留農薬分析書
- (5) リーフレット
- (6) アンケートハガキ